



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成23年11月2日

上場会社名 コタ株式会社
コード番号 4923
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 博英
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 廣瀬 俊二 TEL (0774) 44-4923
四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
四半期決算説明会開催の有無 : 有・無(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,157	2.2	310	48.1	301	49.2	178	403.2
23年3月期第2四半期	2,111	9.1	209	7.1	202	4.4	35	△52.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	20 46	—
23年3月期第2四半期	4 07	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,003	4,978	82.9
23年3月期	6,227	4,948	79.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,978百万円 23年3月期 4,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金			
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	18 00
24年3月期	—	0 00	—	18 00
24年3月期(予想)	—	—	—	15 00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

2 平成24年3月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当 12円00銭 特別配当 3円00銭

3. 平成24年3月期の業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,302	4.5	1,021	6.3	1,028	7.3	565	21.0	64 70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・☒無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | ☒ 有・ ☐ 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : | ☐ 有・ ☒ 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : | ☐ 有・ ☒ 無 |
| ④ 修正再表示 | : | ☐ 有・ ☒ 無 |

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2 サマリー情報（その他）に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- | | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 24年3月期第2四半期 | 8,745,000株 | 23年3月期 | 8,745,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期第2四半期 | 2,650株 | 23年3月期 | 2,326株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 24年3月期第2四半期 | 8,742,398株 | 23年3月期第2四半期 | 8,742,683株 |

(注) 平成23年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、所有株式数を1株につき1.1株の割合をもって分割いたしました。なお、前事業年度末及び前年同四半期累計期間に係る株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成23年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式1.1株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

【添付資料】

<目次>

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	5
3. 四半期財務諸表.....	6
(1) 四半期貸借対照表.....	6
(2) 四半期損益計算書.....	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) セグメント情報.....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1） 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災に伴う電力の供給不安や消費者心理の冷え込みといった懸念材料や不確定要素が多く、加えて欧州の金融不安や米国経済の回復鈍化を背景とした歴史的な円高の影響等により、企業の経済活動や国内景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。

美容業界におきましては、全国的な節電への取り組みもあり、懸念されていた今夏の電力供給問題の影響もなく、当初の予想よりも早いペースで回復しております。一方で、美容室では来店サイクルの長期化や来店客数の減少傾向が続いており、節約志向の高まりからくる消費の冷え込みも見られますが、頭皮ケアに関する製品や施術メニューが注目されております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレットタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、美容業界が想定よりも早い回復基調にあることと、主力のトイレットタリーを中心に拡販を行ったことから、前年同四半期を上回りました。

一方、原価につきましては、トイレットタリーなど原価率の低いセグメントの製品販売が好調であったことから、売上原価は前年同四半期を下回りました。販管費については、イベント自粛による経費の未消化、その他の経費の節減により、原価と同様、前年同四半期を下回りました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,157百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は310百万円（前年同四半期比48.1%増）、経常利益は301百万円（前年同四半期比49.2%増）、四半期純利益は178百万円（前年同四半期比403.2%増）となりました。

なお、セグメントの業績を示すと以下のとおりであります。

① トイレットタリー

トイレットタリー（シャンプー、トリートメント）は当社の主軸となる製品群であります。

当第2四半期累計期間におきましては、美容室の来店客に対するヘアスタイル及びヘアケアのカウンセリング提案に加え、主力の「コタ アイケア」を中心とした店販を推進いたしました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,240百万円（前年同四半期比2.5%増）、セグメント利益（売上総利益）は941百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

② 整髪料

ヘアスタイルづくりのベースとなる毛髪の補修及び保護を行う洗い流さないタイプのトリートメントを中心に推進してまいりました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は402百万円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント利益（売上総利益）は318百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

③ カラー剤

白髪を染めるグレイカラーと若年層中心のファッションカラーの両者ともに、一般市場品との競合が激しいセグメントとなっております。当第2四半期累計期間におきましては、主力の「グラフィカ」において引き続き販促ツールを利用した販売を推進いたしました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は259百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益（売上総利益）は185百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。

④ 育毛剤

消費者の関心が高く、一般市場品との競合が激しいセグメントです。当第2四半期累計期間におきましては、主力の「コタ セラ」シリーズを中心に、美容室で頭皮の洗浄や育毛効果のあるヘッドスパメニュー等の導入提案を引き続き推進いたしました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は101百万円（前年同四半期比7.9%増）、セグメント利益（売上総利益）は81百万円（前年同四半期比9.5%増）となりました。

⑤ パーマ剤

ヘアスタイルづくりのトレンドが整髪料中心となっており、パーマ剤へ回帰しておりません。当第2四半期累計期間の売上高は71百万円（前年同四半期比11.5%減）、セグメント利益（売上総利益）は49百万円（前年同四半期比8.1%減）となりました。

⑥ その他

美容室で利用されるDM等の印刷物及び美容室店舗の移転や新規開店時の美容器具類の販売等に加え、当事業年度から美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタアカデミー」の受講料等の収入を計上しております。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は、82百万円（前年同四半期比22.6%増）、セグメント利益（売上総利益）は31百万円（前年同四半期比103.2%増）となりました。

（2） 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（総資産）

当第2四半期会計期間の総資産は、前事業年度から223百万円減少し、6,003百万円となりました。

主な要因としては、建設仮勘定が993百万円増加し、現金及び預金365百万円、売掛金410百万円、有価証券756百万円が減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間の負債は、前事業年度から254百万円減少し、1,024百万円となりました。

主な要因としては、販売奨励引当金が81百万円増加し、未払法人税等111百万円、未払金（その他流動負債）230百万円が減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間の純資産は、前事業年度から30百万円増加し、4,978百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金35百万円の増加によるものであります。なお、自己資本比率は、82.9%（前事業年度79.5%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末より722百万円減少し、1,285百万円（前年同四半期比728百万円減）となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、192百万円（前年同四半期比118百万円減）となりました。

収入の主な要因としては、税引前四半期純利益297百万円及び売上債権の減少401百万円であり、支出の主な要因としては、たな卸資産の増加151百万円、法人税等の支払いによる支出235百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、772百万円（前年同四半期は24百万円の収入）となりました。

収入の主な要因としては、定期預金の払戻による収入400百万円であり、支出の主な要因としては、有形固定資産の取得による支出1,090百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、142百万円（前年同四半期比47百万円減）となりました。

支出の主な要因としては、配当金の支払いによる支出142百万円であります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災による影響について、美容業界においては想定を上回るペースで回復していると見受けられます。しかし、電力供給への不安は完全には解消されておらず先行きは不透明であり、今冬の気象状況と電力事情によっては、美容室の営業時間の短縮や来店客数の減少等を招き、第3四半期以降の当社の業績に影響が出ることも考えられます。

しかしながら、当社では創業精神である「美容業界の近代化」をベースに事業活動を行うことには何ら変わりなく、「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」に引き続き注力する考えであります。

一方、現在、建設を進めております京都工場につきましては、東日本大震災の影響により建設資材の調達等に時間を要したことから、竣工が当初予定しておりました平成23年12月から平成24年1月となる予定ですが、平成24年4月に本稼働させる計画に変更はありません。

第3四半期以降につきましては、業界では震災の影響から回復の動きが見られるものの、電力事情を中心に今後の見通しが不透明であること等から、平成23年9月16日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- （1） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（会計方針の変更）

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

第1四半期会計期間において株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	415,109	49,173
受取手形	35,382	45,181
売掛金	929,638	518,680
有価証券	1,993,147	1,236,633
商品及び製品	327,424	463,612
仕掛品	13,559	17,815
原材料及び貯蔵品	128,796	139,768
その他	114,639	143,289
貸倒引当金	△2,188	—
流動資産合計	3,955,509	2,614,153
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	562,372	544,687
土地	1,104,273	1,158,906
建設仮勘定	55,881	1,049,544
その他（純額）	108,064	109,824
有形固定資産合計	1,830,590	2,862,962
無形固定資産	27,023	78,229
投資その他の資産		
投資有価証券	155,261	188,002
その他	259,271	260,323
投資その他の資産合計	414,532	448,326
固定資産合計	2,272,147	3,389,518
資産合計	6,227,656	6,003,671
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,608	88,642
未払法人税等	242,000	131,000
賞与引当金	148,629	136,539
役員賞与引当金	—	10,252
販売奨励引当金	4,932	86,634
その他	424,490	168,953
流動負債合計	894,660	622,022
固定負債		
退職給付引当金	28,857	25,152
役員退職慰労引当金	266,840	272,411
長期預り保証金	88,400	105,155
固定負債合計	384,098	402,718
負債合計	1,278,758	1,024,741

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年3月31日）	当第2四半期会計期間 （平成23年9月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,800	330,800
利益剰余金	4,229,920	4,265,699
自己株式	△1,122	△1,342
株主資本合計	4,947,397	4,982,957
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,501	△4,026
評価・換算差額等合計	1,501	△4,026
純資産合計	4,948,898	4,978,930
負債純資産合計	6,227,656	6,003,671

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	2,111,753	2,157,918
売上原価	563,843	549,108
売上総利益	1,547,910	1,608,809
販売費及び一般管理費	1,337,993	1,297,967
営業利益	209,916	310,842
営業外収益		
受取利息	561	683
有価証券利息	820	772
受取配当金	1,130	1,274
投資有価証券売却益	5,215	—
賃貸収入	1,454	2,844
その他	2,776	2,155
営業外収益合計	11,958	7,730
営業外費用		
投資有価証券売却損	—	3,354
たな卸資産廃棄損	17,746	6,749
賃貸費用	1,112	3,047
その他	1,008	3,948
営業外費用合計	19,867	17,100
経常利益	202,007	301,472
特別利益		
貸倒引当金戻入額	247	2,188
特別利益合計	247	2,188
特別損失		
過年度退職給付費用	134,710	—
投資有価証券評価損	—	5,844
その他	7,036	412
特別損失合計	141,747	6,257
税引前四半期純利益	60,508	297,402
法人税、住民税及び事業税	139,089	124,532
法人税等調整額	△114,120	△5,970
法人税等合計	24,969	118,561
四半期純利益	35,539	178,841

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	60,508	297,402
減価償却費	55,104	40,385
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△247	△2,188
賞与引当金の増減額（△は減少）	58,134	△12,090
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	9,202	10,252
退職給付引当金の増減額（△は減少）	38,547	△3,705
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	31,038	5,571
その他の引当金の増減額（△は減少）	80,077	81,702
受取利息及び受取配当金	△2,512	△2,731
投資有価証券売却損益（△は益）	△5,215	3,354
投資有価証券評価損益（△は益）	—	5,844
売上債権の増減額（△は増加）	452,150	401,052
たな卸資産の増減額（△は増加）	△35,781	△151,415
仕入債務の増減額（△は減少）	13,718	14,034
前払年金費用の増減額（△は増加）	88,064	—
その他	△217,171	△261,527
小計	625,616	425,943
利息及び配当金の受取額	2,360	2,575
法人税等の支払額	△316,089	△235,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	311,887	192,986
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	400,000
投資有価証券の取得による支出	—	△51,500
投資有価証券の売却による収入	20,015	290
投資有価証券の償還による収入	30,000	—
有形固定資産の取得による支出	△22,586	△1,090,720
その他	△2,700	△31,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,728	△772,929
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△219
配当金の支払額	△189,622	△142,287
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,622	△142,507
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	146,993	△722,450
現金及び現金同等物の期首残高	1,867,432	2,008,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,014,426	1,285,806

（４） 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５） セグメント情報等

（セグメント情報）

I 前第2四半期累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	トイレットリー	整髪料	カラー剤	育毛剤	パーマ剤	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,209,487	406,744	253,509	94,251	80,771	2,044,764	66,988	2,111,753
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,209,487	406,744	253,509	94,251	80,771	2,044,764	66,988	2,111,753
セグメント利益	913,414	316,346	174,188	74,685	53,702	1,532,337	15,572	1,547,910

（注） 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物、施術時に使用する美容小物品等の販売や、美容室等の店舗の改装や出店の際に必要な美容器具類の仲介と販売及び美容室における集客支援ソフトの推進等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	1,532,337
「その他」の区分の利益	15,572
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△1,337,993
四半期損益計算書の営業利益	209,916

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	トイレットリー	整髪料	カラー剤	育毛剤	パーマ剤	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,240,252	402,996	259,391	101,657	71,481	2,075,778	82,139	2,157,918
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,240,252	402,996	259,391	101,657	71,481	2,075,778	82,139	2,157,918
セグメント利益	941,837	318,842	185,375	81,747	49,358	1,577,160	31,648	1,608,809

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室等の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタアカデミー」の受講料等の収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,577,160
「その他」の区分の利益	31,648
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△1,297,967
四半期損益計算書の営業利益	310,842

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。